

## コミュニティバスひまわり運行事業の事業評価について

### 1. 利用者実績（平成 30 年 10 月～令和元年 9 月）

（3 頁参照）

### 2. 利用者アンケート調査結果

- 調査日 令和元年 11 月 26 日（火）～30 日（土）
- 調査便 奥滝線、加悦奥・石川線の第 1 便、第 2 便（午前中のみ）
- アンケート対象者 のべ 54 名（うち重複回答者 21 名）
- アンケート結果概要

区分	質問項目	アンケート結果
利用者について	性別	女性が 79%（H30 実績：女性 89%）
	年代	80 歳以上が 65%、60 歳以上でみると 100% （H30 実績：80 歳以上 49%、60 歳以上 96%）
外出について	目的地	【奥滝線】 ウイル、梅谷下、算所公民館下 【加悦奥・石川線】 ウイル
	利用目的	買い物が 51%、通院が 27% （H30 実績：買い物 43%、通院 23%）
コミュニティバス ひまわりについて	利用頻度	週に 1 回が 59%、月に 2 回が 32% （H30：週 1 回及び週 2 回が 51%）
	利用曜日	火 17%、水 26%、金 33%、土 20%、決まっていない 4% （決まっていない 62%）

### 3. 目標・効果達成状況

平成 21 年 3 月 16 日から実証運行を開始して以降、利用実態に合わせた改善を重ねてきており、利用ニーズに即した路線・ダイヤが確立できている。また、沿線住民にも認知され、買い物、通院利用を主目的とした利用が一定定着しているものと考えられる。

	平成 30 年度 (H29.10～H30.9)	令和元年度 (H30.10～R1.9)	対前年度比
利用者数	4,861 人	4,476 人	92.08%
運賃収入	879,291 円	806,189 円	91.69%

しかしながら、利用者数、運賃収入を前年度（H29.10～H30.9）並み（100%）を維持する目標に対して、利用者数、運賃収入ともに、令和元年度（H30.10～R1.9）は前年度を 8% の減少にとどめ、昨年度並みの実績を概ね達成したといえる。

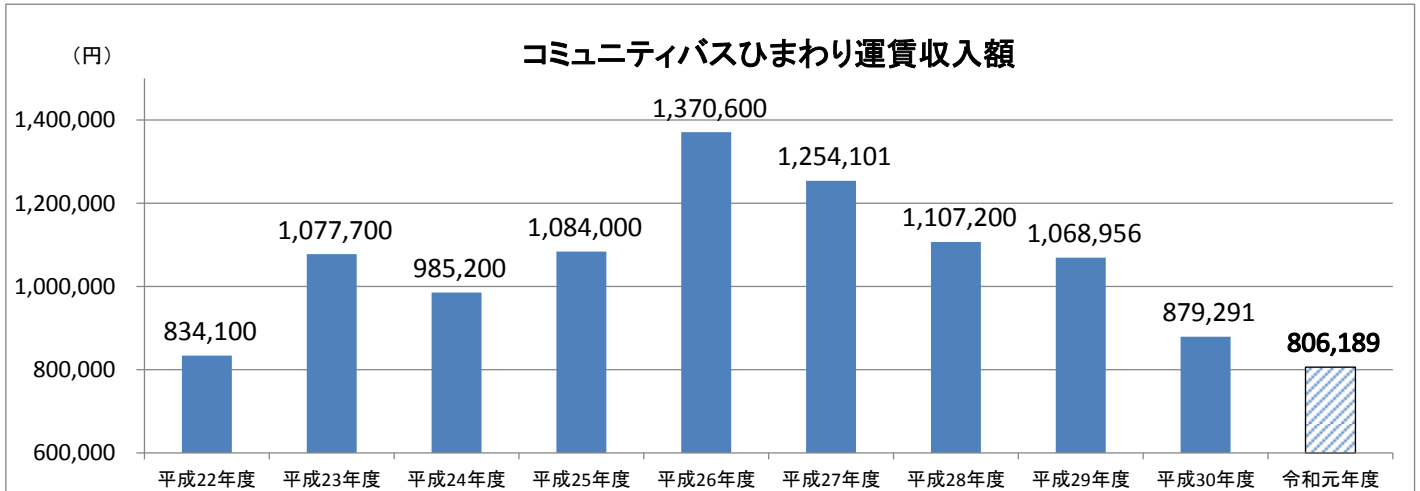
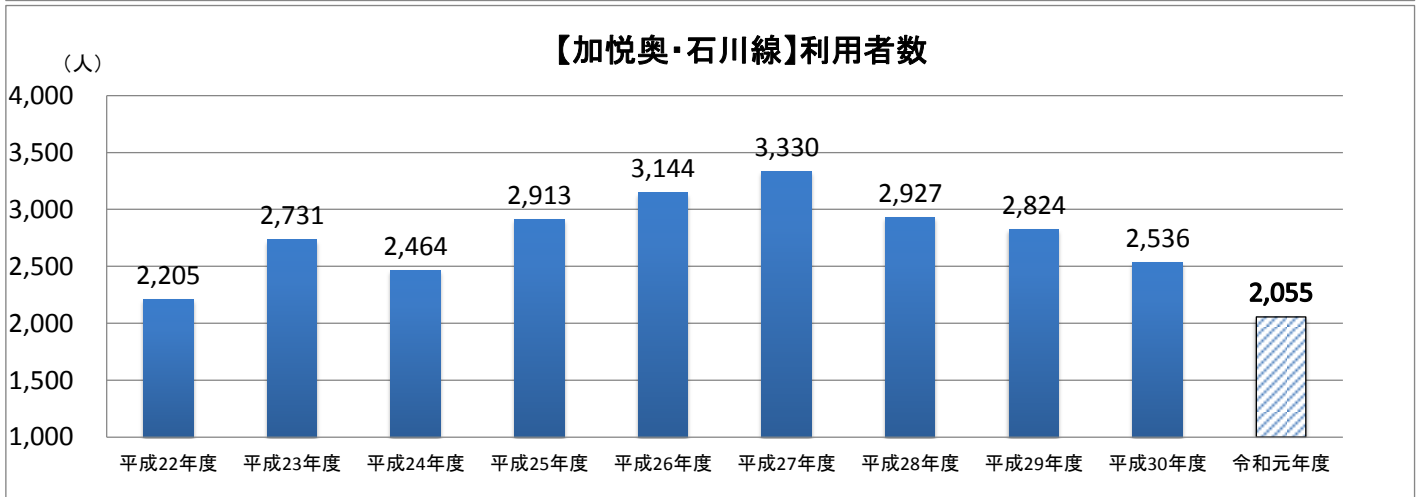
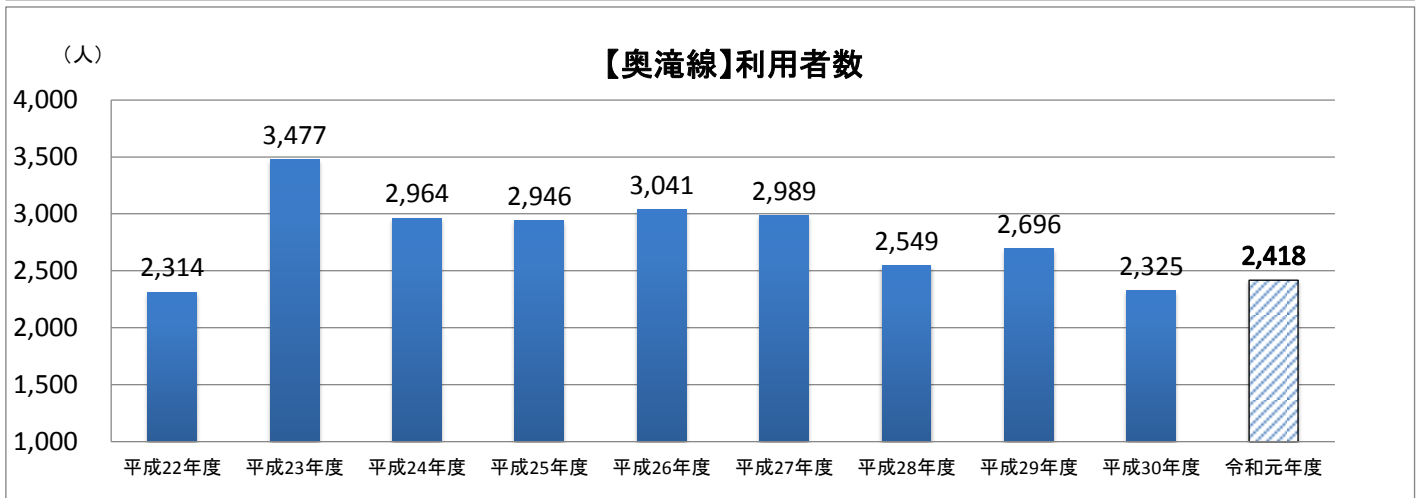
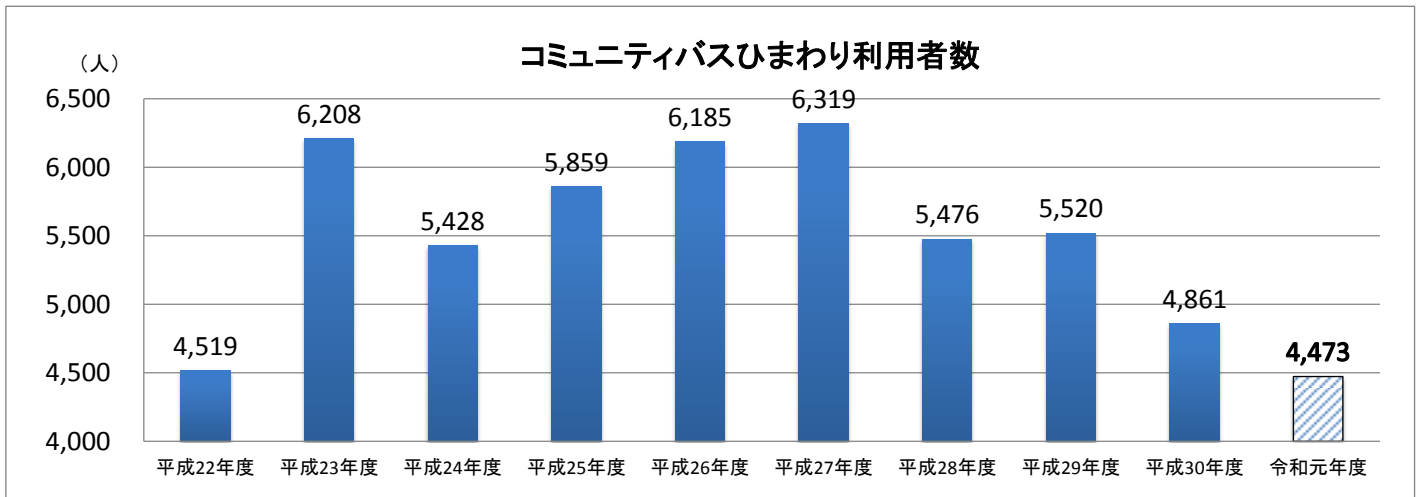
路線ごとで見ると、平成 31 年 4 月 1 日より運行日数の減少により利用者は減少すると考えられていたが、奥滝線は対昨年度実績比で 4% 増、加悦奥・石川線では約 19% 減といった利用

となっている。また、4月から9月までの利用者数を見ると対前年度比で奥滝線 11%減、加悦奥・石川線 37%が減となっていることから、週3日から週2日への運行日数の減少、ならびに運行曜日の変更にともない、特に加悦奥・石川線の通院利用を目的とする利用者、これまでから乗車していた常連の方などが乗車されなくなったことが要因であると考えられる。

#### 4. 今後の改善点

アンケート調査では、町営バスを続けてほしいという声が多く、運行時間帯の変更やバス停のバス停の追加などを求めている声もあった。

利用ニーズに即した路線の確立等により生産性の向上を図る必要があるため、利用しやすいバス停乗降場所への移設や協力が見込める施設との連携の強化ができるよう調整を進める。



コミュニティバスひまわりの運行日変更後の利用状況（4月～9月分）

(1) 奥滝線 (H27～) ※4月～9月分を合算した数値になります。

	H27	H28	H29	H30	H31 (R元)
利用人数 (人)	1, 456	1, 228	1, 394	1, 264	1, 125
運行日数 (日)	73	75	73	73	50
1日あたりの乗車人数 (人/日)	19.9	16.4	19.1	17.3	22.5

■ 対 H30 年度比較：5.2人 / 日 増加

(2) 加悦奥・石川線 (H27～) ※4月～9月分を合算した数値になります。

	H27	H28	H29	H30	H31 (R元)
利用人数 (人)	1, 288	1, 171	1, 147	1, 112	699
運行日数 (日)	76	74	76	74	50
1日あたりの乗車人数 (人/日)	16.9	15.8	15.1	15.0	14.0

■ 対 H30 年度比較：1.0人 / 日 減少